

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和7年2月28日

事業所名: 子育てサポート ぶれ・しゅーれ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			使用できるスペースをフル活用している。棚や机の向きなど工夫している。	75%	8%	17%	1F2Fとあり活動スペース、カーンダウンエリアがある為、すべて見ていないのでわからない。いつも楽しいと話してくれました。	見学、動画撮影など検討していきます。
	2 職員の適切な配置	○			細かく相談しながら配置している。	83%	4%	13%	手厚い支援を受けることが出来て安心しています。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			個人に合わせた提示の仕方や環境設定を行っている。家具や机の配置を考えている。	88%		13%	本人にわかりやすく作成してもらっています。変更があってもスムーズに出来ます。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			室内の清掃、加温、換気、室外のゴミ拾いなど行っている。	71%	4%	25%	「おやつをこぼした時に自分で拭いた後、先生もお掃除してくれてピカピカになった。」と本人から聞きました。「見たことがないので分かりません。」	活動している様子を見ていただけるように今後、検討していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			活動前、活動後にミーティングを行っています。課題分析を実施して課題の振り返りを行っている。					
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	今後、検討していきます。					今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			毎月のスタッフ勉強会や、自閉症eサービス等の外部研修に参加しています。					
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			個別支援計画のミーティングを行い利用日などに子どもさんの活動の様子を伝え、保護と情報共有している。個別支援計画につなげている。	96%		4%	前期後期共に私たち家族の希望に沿って作ってもらえています。自分にはない視点での話が聞けるので勉強になります。好きなキャラクターを取り入れてくれています。利用し始めたばかりなので分かりません。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				92%	4%	4%	お迎えにもその内容を取り入れた支援のお話や本人の様子を教えてください。	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			子どもさんに合わせて取り入れている。					
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○			その日行った支援は必ず適切であったかどうかスタッフでミーティングしている。	96%		8%	支援の内容を取り入れた物の話をさせていただいています。利用開始してすぐなので分かりません。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○			活動内容がマンネリ化やパターンにならないように常に様々なところから情報を取り入れ作成し実施している。					
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			子どもさんの興味関心を保護者や関係機関からお聞きしながら実施している。スケジュールに変化をつけ新しい活動を取り入れている。	100%			1日のスケジュールを持ち帰るため親子でも確認楽しみに待つ事が出来ています。親では思いつかないあそびをさせてくれる笑顔で帰ってくるので嬉しいです。子どもの意見を取り入れてくれる。	
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			必要なお子さんに対しては長期休暇に合わせた利用へ変更している。夏休み企画など季節あった活動を取り入れている。					
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			職員の役割、分担を表を記載し各自で確認を行っています。確認事や引継ぎを全員で行っている。					
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			業務日誌を使用し職員間で振り返りを記入し共有を行っています。毎日ミーティングを行っている。確認事項、引継ぎを全員で行っている。					
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			個人の記録ノートに記入し職員間の情報共有、引継ぎを行っています。記録を毎日欠かさず取っている。					
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○			相談支援さんともモニタリングなどの情報の共有を行って見直している。前期後期に分けて個別支援計画ミーティング、作成を行っている。					
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			児童発達支援管理責任者と担当しているスタッフが会議へ出席している。					
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			幼稚園、保育所、小学校へ訪問を行っている。訪問を行った後には、先生方と相談、ミーティングの時間を設けている。					









関係機関との連携(続き)	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○																			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○																			
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供					○			10%	10%	20%	60%								・他の子たちと活動することが苦手なので、今はまだ交流はいいと思う。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営					○															
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○							100%											契約時にご説明しています。後日、ご質問があった場合、その都度ご説明させていただきます。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明					○			90%		10%									・きちんと話を聞きました。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施					○			85%		5%		10%							・もう少し時間が含まばいろいろと相談できそうです。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底					○			100%												・学校のことや私生活の行動など共有できていると思います。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施					○			100%												・話を聞いてもらっていて助かっています。もう少し相談できればいいなと思います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援					○			55%	15%		30%									
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応					○			60%	5%		35%									
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮					○			100%												利用予定を事前にお伝えする必要がある場合は、保護者またはご本人にメール等で情報をお知らせしています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信					○			80%	5%		15%									
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応					○			90%			10%									
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底					○			45%	5%	10%	40%									
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施					○			40%	5%		55%									
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応					○															虐待防止委員会を設置し、支援会議内で情報を共有しています。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載					○															
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応					○															保護者からの情報にもとに対応しています。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底					○															